

よがはる。

生づ何より 先に 蒸りたい

月輪のお館へは、土佐の上人より のは、飾の法然健房の御再息、一

は思はず聲を浴してーー

いあく知らなんだ……」と、親鸞

『この身、耐所にあるとは中せ、

製蔵は調ねた。

原にまみれた望を横さ、原式の

れた事であらう

の法然御房もさだめしおりを落さ

網との間を通つて、裏の自体をモ

の事でご言います。その動からの

かりそめのお何ひが因とたりまし

た護魔が、縁かにそこ、「撃つた龍」『云笙の―――夢元四年の四月5日上!」「吹いて、春のにほひを持つ」て支、それは同作?

一て支、それは同年?

節か二米た二人の女性の客をそ

春(四)

越路篇

村 耕 英 花品

治作

ES.

きたさに、臓をかたくして整へて「この上にも、態態がの人々が、これも、都の消息を開「日を服に押し営てたっ

次の間には、西郷や生信房など ものを飲からはよりこぼして、

たのである。萬野は、徐へてあた

親てく生職等と申しあげ、お掘りの床とやらいふ所に、新に一等を

11. 力

野、まだ端ぞの上に凶事でもある

何からはて心がかりなる

でこの上にも、観響が落く事とは

るなく 御教化の 由に こぎります

いる。気づかひなく云ふがよい

一言複数は何事にも、総かねことを

お館の御籠地、避聴陸騰池の小松

真曹特許

眉になった。

これを何つて、まづ安堵した。

をたのしみながら、交明夕に、越

かしと、ひたすら和子様のお寄ち

さて、次には、お緊吾の月輪

七の安心が聞いるに現れて明るい

観点はほつと流い預さをした。

は、お父君にもまさる名僧になれから名も確意といたよき、行く末

様を離り育てて、南部院の叔文書

『お師さまの御在論の後は、相子 『慶方の玉日様が……」

裏野の響へを聞くと、

老公にも、さだめしお他かで居ら

ましたが、月輪標の御逝去やら、 後の空を態ひ盛うておるでなされ

何かの豪ごが、徹もられて、

冬、ふとお風邪をひいたが困とな

益用博士夫一家気の寮 點、我 科 朵 圧

難はっと膨をゆるがせて、 『……はい、その課間様は』 れませらな

裏野のことばが調つたので、親

お信息でもあるかり

就に来を書つて響が違いてしまっ

本師登

そこまで云ふと、重野はわっと

士博學醫 家究研法漢 見發生先門幸田森

用採院醫病

近保護法案は殆ど絶望。現せ、決定を見るに至らず郷動員 企設政権法案は政友會の気 何とか

衆議院は問題の退職積立金法案上程

台灣折桶株式會此法案(政府

東武氏(致友)院議会教 単し貴族院絶附案に反對する と切々たる事例を思へて適用範圍

櫻井兵五郎氏(鼠

一旦し部院出第五十五様に依り回

退職積立金及退職 片山哲氏

東京山川東明さ

し次いで越大なる昭和十一年度帰

・昭和十一年度各特別會計級人 (公正) とり擦除器質の經過能に 過加案(第一號) (組織皮) (組織のため副委員長干秋予除男 ・昭和十二年度級八歳出総皮) (一十十二十二年) (十十十二年) (十十二年) (十十三年) (11年) (11年

右七十十一折上棒し即源委録長何

版の結果、途に誤解成立、來避早

九三七年度の指軍補光 爆算審

だらうと思ひます。作しこの遊し喰止めるのます。併しこの遊し喰止める間いての遊し喰止める。

平時における最高

しつき部間なる報告あつて第二級

成反)上り委員僧の問題順に結果

颯爽!玄海の女王

富田議長、貴族院の修正 脱より舞りに拍手と繋送を送れば

長問題につき重要協議を

福田田や東内田田島

より委員会の統治版に結果を報告

建議奏を可決し昭和八年以来學。水準をなすものである

のチフス、赤斑原派について選生

妓生風の女

一十二月夜京城顕路 丁月湯武部に

らに超大な容能性を記上してなり 年時におけるアメリカ海軍の最高

多 **坂谷芳郎男**

類此本態組は 「影響をかねて是非常行鹿で列腺也 「無原版語」 「脚隔層」 随行組織主式に地元後助の

更に患者續出

大邱師範のチフス

薫風に勇む

近」を買行するとになった、適利 々九州主と飛行後「既に大臣公の もに龍脚に置くが天候如何によつ 部大阪立途中音雄の上その目のう れてゐる、右につき島間校長は

三十四八年國九時五十分三登長

月に就航

一躍国上の海中で遅に医士師町様子

間接機員の条内ではな、正生間接 明十二部江田は山部四八本の守地

郷を除城する江川島時爪広爆校を

優光と洪水を強いた臨時別中の今一十九分良地通過場所に同二様定、

一方假點立有關門上作所開聯學與

三等二百五十名はこれ交際時列電

子九百圃のものを溜州側に

厳重なので上陸出来す、引起した一名は膨光し、他州七名はそのまと

たが、安皇祭福州側花園の監測が「特勢が配役したので、李嘉州外八」名に命じ九名の死過を捜査中であ

密輸せんど、船に積み数ところ、南州師の屋敷船が起記、一連定した

九名溺死、三十七名は逃亡

シーズン最後の列車で

無産派必死の猛追究

神内相 本法の成立を様と

米國海軍補充豫算

24 日 1916時

坂谷芳郎男

る大蒜富局の財政問題、韓工省の一談なくこれを承職、直ちに被長者「宮城温速 とになつた

自報告せしめこれを記載に踏り異

必要なる行動機構の酸革、液量燃料に輸し或所の燃料関策の強行に

不配 明之

・ ち [明日] 誓り 北方 [今晩] 晒れたり

全般天氣豫報 25

府の答師を促したが議長は答師を 方策等につき長々と質し降い、

量

K

液虫殺出抽贿虫除

嚴重に取締る

宛 枚二月毎りよ日十二月五 了完て以を間月ヶ六迄日十二月十



殺せ蝿。

汚臭所なず





でりと蚊

番一めいき

高铁 州紀

社會式樣物由除正大

本河町三二級野葵 " です 婦人用式班二十数節を入買せん

所明鮮支部

B. 的部長吉村市町、間山京

全師から集まつた原用 館と銀貨額を置した

TEADS AT

態型























京城本町一丁目





用庭家







イスケーは今凍機 岩谷冷藏株式會社

うれの謎

一年五月廿五日

移 轉 開 業

varomateshiftabe/色版のま E-: トコレクタビ

一君不明の折も折

西庭家签工場附近で連加した、版 話を持ち出したため、投票者は同時直家签工場附近で連加した、版 話を持ち出したため、投票者は同

家出した嫁の 質家を恨んで

下腹部を斬付られ妻は絶命

いれ類低恐慌四低に耐物の管理がいれ類低恐慌四低に耐力がら實施

原より所深に向つたが、四機は、時登陸し、その他未次曹長操縦の一

ス公暗殺未遂 は事性當時ウインにあり無事だつ 警官隊と猛烈な衝突

Sを惹起し結局オテス駅中一である いまつた繁宝隊との間に猛 レンベルケ公の戦級を闘つたもの が報事制に批脳を知つて 樂多數ありと親み振奪なほスター

- 順、所得間のコースを選んで二「戦辛うじて所際に帰着した外中尾」 「断深電話」所得飛行訓啡は各格「て安田県長操鍵の一機が午後十時 - 折断の忠天候を断いて各務 | 缺乏の肾午後十一時半田子龍に不 長時間の曖恥を続けた上ガソリン 大尉操総、矢内安佐間楽の一般はい辛うじて所際に躍者した外中尾 林鎭得、徐五郎、林東司など十畝されてゐた傑淳・郷王海、金長週、 【大印度話】去る二月以來所別等 沖大邱署長の親前途ある若者達に

野事件の犯人として大昭治に被験 | の片限に新しい土を掘つた所があ と幼児の包役が最を選起、直ちに 変異女(この仕楽と物明遠地した 見で設定されて間もないものと物 の小刀を受取らうとした。スルト、

やうちゃか、如何したか?何叔、

家で先年我が瞬にも来傷したこと 日電池】フランス著名の女流派行 【スルベルグ(スエーデン)甘一 ルズ嘘重傷

行かれては、御主むから、お叱り

『それはいけません。 勝手に出て

赤衛軍タ

ク隊行進

(メーラー風景)

びラス・カッサ將軍等を織へさせセラシエー世には二十三旦土丁及 設留中のエチオビア県省ハイレ・ **勝間をかけつけた新町派出所**

タル無田一路ロンドンに向はせら 「六之帰妃め、一同能く承るがよ

汝も従いてまるつではならんと までお越しになりますかり 『脳神まで滋爽りを授す、今日は

かうとするのを重長前は、概シ押いひ消でしまの壁、飛出して行

|回午前十時半、午後一時|

夜日十三

かぶ) 高田澄子 嬢

一勝利

(映畫)

き處女地 尿社



「どうちや、交兵術、今日は明神

まで道頭りを取るうではないかい

の牛乳屋・映起特作日本版

ると各々乗りつけの馬を曳き出し

国外館

三九条即子久松崇祖校下版 聞討仁義

若草映画劇場



、マスター香糖

品の出來るまで

(映 悲)

代特別出資

(東都美容界の新 (中島田号の新進美容 小日本も女史の秘盤完全日本美容斯の景 黑衣の

(1) 水城冴子女史

至) 板倉利子女史

女

(映 書)

解) 吳 葉 舟女史

お化粧の質演

POWDER MASTER FACE

美の開拓者としてマ 層美しくなれる最新 かも餘興だけでも 上派に興業價値のある豪華プロ 作學的化粧法を公開致します。 大奉仕、すぐ役立つて必ず一 ター香粧品本舗が鮮満の御愛

が下さい。

質野河指所

日き慶女地 三、四〇 八、一五、八里上、「とこ 江戸節めをと姿 五、〇〇九、四〇

功によつて、此の小刀を褒美に野

、現れた亡盛は、其方に、生真し

の一トロを軽へる、交兵衛は、上

伯 Œ 止美調演

映論あつて以

· 原属能

共に、武術や馬術の穂古に動んで

は、大兵であつたから得火は五尺

類型ジュードフイルム社徒死的異 上演三原珠子助演 | 四原珠子助演 | 四原珠子加速 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 |

南極ロアロア

市协能等

大學よいとこ

百萬兩の壺

通藝等内

フランスー 流會社の 色素と香料を使つた

晋州署の必死の大捜査で

近く逮捕の見込み

り各部長を決定した

新幕の火事

火元で懐死

井上さんの明快談

が、自記城は大火傷を百つ直ちに「富善県」井上郷高島長い中村郷、行真、浚草出郷野、道邇を郷露廻門・一時選に經路、近週的世界が、「富田東路宮、阿宮建立と常師、「一 あし午後二時開発に向け上流へと寛政に避られて手なを受けたが、「富田東路宮、阿宮建立と常師、「一 あし午後二時開発に向け上流へと寛政に避られて手なる。「別因い即夜城 十二日午町七時十五分新瀬田郷新 田郷したが、郷宮南部で建全党会である。ても千つラインと原則、小田では近して、およの観念され、あの記書に纏っ

本品は―

成立つて居ります 世界の名花三十八種から

各花精が活々と調和して

本當に皆樣の心持を愉快に

致します

百圓也を添

この手紙に添へて五百圓也の含着しなった

外人匿名で献金

奇特な外人判る

流線型

携高 帶尚

至 優

便美

御携帯によつて 香り容器

の

それは オリデナル

常にノとき香水をノ

諸官廳とんだご難

【画義権】二十二日午前一時ころ。を源底して襲地に潜走せしめた

清城對岸襲擊

思はぬ捫着を起す

識の中心となつてある原頭作業弱

| 1-1 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-2 | 1-

トな形に **のこと 不足來形は受付ません** 御都蔵は必ず第一種鄭健として三錢切手貼付 m

進 呈方法

御買求めの翻**オリデナル**小瓶空筒壹個と參錢切手壹枚 對入の上 東京市日本簡單水天宮前 本舗 安藤井筒堂景品保宛 本舗 安藤井筒堂景品保宛 本舗 安藤井高堂景品保宛

香り容器の

省水の一滴と の魅力は

會採 東京市日本橋區水天宮前安 藤井 筒堂

(定價 廿銭)

氣の毒な春田博士夫妻の悲嘆

平壤署の捜査空ー

只今 |

早く御申込み下さい御優待として御愛用新日がれたならぬ内御を記す、このではます。



制の金融を調ぜざるべからずと説に結果を最告訴訟提供の結果委員ればならぬ」と同じて裏に歴史階、政策(火曜)より委員會の評過船

思想和保護觀察法案(政府提一配布された法案の内容を検討しな

積立金案可决

と戦、民國軍の修正常文詩の選

鈴木文治氏

加藤鐐五郎氏

田尻生五氏(畝友)

去る廿一日頭豊州、山海「青の行意と見てその方面に蝶雀の一切の他行を自由した則脈は廿一日 原則人りの赤行騰盗殿。手を進めた結果、廿四日午後七時「頻係以の隙をみて赤行鷹をぬきと」

行囊は封鉛の儘裏山に隠す

晋州局員前原秀二

初夏の金剛山にも杖を曳き

字垣總督元氣に歸城

ルメット解棄の解散で午後五時、から外金剛へ用連後初のて背松日ルメット解棄の解散で午後五時、いて愁を練るところあつた、府城」その、但、日のお土産も、海山、、 はじめ無比の富水県が局長。前二下側、佐門がだけました戦争の新聞里勝は下側、田中黌。他の前間線を川窓に眺めながら長

道に乗つた半島統治の大方針につ れる調節部の合工学でしばらく執 観察を行ひ半島の中央部と傷へら

延長さる一部

算案成立す

朕五月二十五日迄一日彌帝國議會會期ノ延長る

钢鮮事業公債法改正→成立

貴族院本會議領

応内君十種に二等

髙

一程質問なっためたとちに委員

◆ 回戦 (審判機順、田)

四日午期十一時から京城開発域大塚可賀法學等門領球戦は

|単行城大津新|||動一で快藤

城大豫科勝つ

對法事籠球

ほか二十九件を請願委員長の他告

海軍當局談公表

(同和) 本実は廃田内閣において本境會に提出された唯一の社会主法でなって私は本案の通過を限わられた唯一の社会を限わられた。

金岡又左衛門氏

〇、一・三〇、二・五〇、四・八〇、七・〇〇

女事 「孫祖宗神徳本帝」」
「現本市」一日 本町ホテル
「現本市」一日 本町ホテル
「現本市」 「現本市」 「東京市」 「東」 「東京市」 「

なったけは情報して強けるものです。なったは情報して強けれ、酸器されて出ります。酸素されて出ります。

小川 大日本 準腳會籌談 肚間事部全國有名類店にあり――

慶賀に堪へぬ

刺製館松書田有

ド田さ

十 日本化學新聞音關雜板優所 學見本部第二十錢更常城府旭町二 學見本部第二十錢更常城府旭町二 各方面必需細腹路照出完多鄉實有 於 用代學紙一般學生大

宋 賞 案 質州二三面位階 上二宝階下三寇位郡方天始國9

新館落版 公 り 日郷驛へ徒歩三分の関叔境

格賽縣 別人界 符六四

(A) 操作别间呼位语利 (A) 操作别间呼位语利 (A) 操作别间呼位语利 (A) 操作别间呼位语利

7

恩

母! 电

元間度率キホンウラグ

と連絡せんとする所を憲兵隊に

探索中だつた賣國奴

、傷霊盛の増備を行けんとしてある折断、突が廿二二日釜山において某國領事。館に重要緩慢、「釜山散出」日本の生命綴として「ဴ 郷華々しき歌迦迩上にある年齢を建築に維御に歌郷するスパイの跡にに、 近く京城に護路戦重直及の上世皇帝多数もして迷地される機様であるが、時期朝雲局の全岬郡を失

金 施 澤 (雅//) 中石八十二 (京廣) 李 榮 根 (京廣)

|現外二百七十八 | 再を變現して同犬時二十一







田病院 トンテ西中 ***(3/-j-i)











効果第一の―

ぜんそく薬

とお試し下さいノ

東亞煙草醬會社

※ 京日案內

+





















▲第一回戦 ◆第一回戦

咖回

削九時から京城運動基コートで畑

等では、 のでは、 のでは、

朝鮮等門學校庭球大會は廿四日午

銀龠

(林林原

内北野沼本竹磨石

□ 第五戦 新作落語集 新作落語集

東京市京橋區京橋ニノ八 をお書き込みの上

明治製菓株式會社

ハトローゲン係宛

球岸不一▲異投來內▲併稅醫學 青木二、吳戶▲三屬打廣木▲類

人を就く取鉄百ヶ編 整太 間の 戯世 街 豊 太 間の 戯世 街

見讀本象示ちやん日記 一ケ年未滿の赤ちやん 一ケ年未滿の赤ちやん

子に吸著し、これを休内に排除炎性物質を、その極環細なる分

カタル・下痢を生起せしむる催

せしむる作用を有す。

アルシリン錠

86--385(O)

たる脇内毒素の吸著解毒作用とアルシリン錠は、脇疾患の原因

專門學校庭球大會

(経験型

富海折重玉部永戶原內木 **選挙祭202121711**

住所、氏名、生年月日 はの東に赤ちやんの

トローゲンの罐券

爾試合トータル

組

回(藏道)関本四球二流

御鮨、大鳥、石井(帰)四の部門側山郷温で鮮郷先攻、佐藤(駅)二回航け計四日午後一時五分から

出版質美野ポリーグ府標別群選第一〇二

自ら敗因を招いた府廳勢

◇一回(京電)東山一振宮津中席 中原で、一覧面の変価ペントに対数さ 出で西国の変価ペントに対数さ 出で西国の変価のプローボロ対数さ

Ħ

母から女子受意院に個人學経ばされた孝宮内閣主殿下には御學成と劉邦に干集権人嫡海婦人 にてアサリ、ハマグリなどの御孫取に興せらわた、御恩真は

孝宮さな御潮干狩り



野製泉氏宛申いまれたいと

在中一般

質道場で転日午後一時から九時ま

与道範士佐々木護華氏の人城を機

かれる。登録看限許は黄金町:勝

で弓道師好の七による職型層が開

一般日生石種種

尿電の積極戦法に逓信潰

○五回「京港」「免後中原漫越テ ・ 1 回球で中原を挿し出します。 ・ 1 日上たが古西の技術に同せられ ・ 1 日上たが古西の技術に同せられ ・ 1 日上たが古西の技術に同せられ ▲ (親信) 無為 ・ 単語二種者に生選す、東山石飛 ・ 観信) 無為 ② 本人り後年生西田 S四球ご用たが河 (金 水人り後年生西田 S四球ご用たが河 (金 球目) コーナー・ 一会 「 強 の いっぱ (1 年) 「 1 年)

職したが結局宣省の樹権的な職のであった。同語の写摘版はこの日本次のであった、總信も再成り進れのであった、建信も再成り進れのであった。

器政二橋企中市

れるが、謝蘇竹峰なるか?画園田、五世年後四時から京城郷島で行は 専門野球けふ決勝

展を守り過すか、國家恋妃の戦師

野者の來。近の手笥建 人生之溪から覗けば 人生之溪から覗けば

●第二輯

■ 大き 女房に持てば 事業 本書く要領で秘訣 ・ 主紙を書く要領で秘訣

有益な「島世質庫」 洩れなく送皇 左。七種s内部好s分







伊軍四國境に集結



●第七輯 STAN 連體健産法 ACIEMかれる法 人に好かれる法

(語) 玉木・佐田 (壁) 三氏 引き続き 地次届 高商母高 監難は

時卅四分から京城紫塩で耐場先攻・ 狭勝線場勢医導験は廿四日午後等

31-0

高雨大勝 對高農戦

學校野球戰

編盟聯護愛童兒京東 の子我

一門家が必要派込んだと問いいれる

世度り並輸法百ヶ條 会第三輯

るに決定工事福貴の属イタリ ア政府は國内各所に要属を維重す

呈贈代無

۳.



(成分)銀炭末と連化銀 住館を主効分とせる糖衣錠なり

急不膓 ・慢性腸カタル良食餌中毒

うちです? 頭のであいは? ----はキクネー

10號人(三线) 10號人(三线) 10號人(三线) 10號人(三线)

店商衛兵長田欽懿 元 寶 發 衛兵新西小紫 店理代東陽町水區超本目市京東 36 后 釜山商船組 圏 田 組

製き特

元賣發造製 二寺圓高區並杉市京東 所究研藥製大六

症 () あに店専園全)

西大阪商船駐出州

国際連種支出

新京人名法 地名 河北省日元山三日 建立日河北省日元山三日 建立日河北省日元山三日 建立日河北省日元山

北鮮東京行

日本市日

日 清華三日 元山三日 総山 - 牌多一間 -

日元山日

本の ・ では、 、 では、 ・ で

ら、強いて後の話聲を問かねやう 中のだと、干夜子は、内心呆れ行

干夜子は、まだ女皇生だつた頃

述ひではない。

曜に (佐田さん)

干夜子は、ハッと驚いた。聞き

○持時間各十時間 ◆所要時間

「井殿」

戰

ん、どうする、佐田さん?」

に、その整曲は一度遊ん

は、男が若し自分の大だつたら、

五五角打ちに

法・論を得た、

Ŋ

灩

7

振り返る課にも行かず、干夜子

の男女が残りに、七ッちゃん!

「連れつて、此の人かい?」

と、プログラムにあるから、後 無関と愛染ー・中村七郎

と、云つたと思うと、同じ男の野

五四.

雅 北 北

金玉金銀

#

桂 步步步步 銀玉 桂

と受染を明礬してゐる男のことに Pを握つて、身張よろしく、無関 と残ってゐるのは、今テーブルの

見ちゃ、御一緒にどうだい?

失慮な総手も交つてゐる

ないんだしのね、いくだろうん

かやうなものさ。 登板よ

ば、あんたが戦師だつて云

耳にガーンと響いて來た。

しい、男の大きな繋が、千夜子の

と、後の女に話しかけてみるら

二流争弱血

(6)

△七段

田泉

写うんo だけど、今夜、連れがあ

R女の、先別から小正なく歌けて 干仮子は、自分の直ぐ後にある

男は大分酔つていもゐるらしかつ

んなところかナー

#

一来た。 お安くないわ

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

装置新上演映画

ら、笑はせるわ でんせい、あれが追続なんだも で七つもやん・乙に澄ましてるか 典當のいおそないか-千夜子の夫(豆) の顕微の仕方には、不識があつた 肌が、はつきり出来最ねてある此

は、正、天に遠ひない。

盤の調子の建ひこそあれ、

水 海 水 海 瀬 南 瀬 南 著

同八時一〇分 新氏部

同八時(後)二曲 西行機

關肝崇越外

京城帝國大學教授 岩井誠四郎

同八時 I 〇分 絵吟(祭山) まり子、百太郎

同八時三五分(六)ピアノ定期演

川崎 暗城

間立時(夏)ラデオスケッチ 汽山)

同(時(東) 朝人藩臣 世界女衆 同(時(東) 朝人藩臣 世界女衆

シエルツインガー作品

「京高工統庁ンテ」(ビクター 重奏 出演。 「京高工統庁ンテ」(ビクター 重奏 出演。 「京高工統庁ンテ」(ビクター 重奏 出演。

護硬 紙核電防デ 康臣 严鑿

交通四生

四天・領象通報・翌日の香紙(地・同大時三〇分(東)時報、ニューアナウンサー・朝倉・保・アニ河関原来寺山を建より中麓・

入政松竹少女歌劇

婦人講座

二午時後

世界女連藝術家物品(四

方へのニュース・原域では、総は、同人時、五女、生活改善選集へう方へのニュース・原域では、地口、同大時、五女、生活改善選集へう方へのニュース・原域では、地口、同大時、五女、生活改善選集へう方へのニュース・原域・ 選ばし続て 関連に続て 関連に続て 選挙 日本の はいません 一 古野田 1912 1820 サイナダイス同

放

送

同七時三〇分

結核薬防に

な異似せず、もつと、常々と、男一たら、ほんの一と次の騒音で命を 然し道樂なら、朗謝なんて答番 倍度、二階目の、

本版がお留守になるわよう でところが、そんなことしてもそ、 職なんて、あるのかい?何時

盛で」もやりやいるや か女に扮数ちやつて、何處かの舞

本自身の称ち帰は面目いと思つてが、それとは那に、千変子は、鼬 が、おねしにもよう動つたであら 緒でいしまつたわいの。----これ 『お節ちやん、下へ降りて、交際 太脚どの・愛染出王の色香のほど 手掘い法師ぢやと思ふてゐ 祖屋の知ささへも、一時に、 「おや、そ、云つといてよ」 くり地球領域を見るやうな恐ろし さに變つて行つた。 めてゐる大勢の整紫も、美しい花 「あゝ。連中盛んにやつてんだか **新盤の此の大裏間も、腹間を埋** 干夜子は、もう脚本どころでは

ろう

は同六時二〇分(束)カレントトビの「同六時五五分(東)カレントトビの「同六時五五分(東)カレントトビの「同六時五五分(東)カレントトビの「同六時五五分(東)カレントトビの「同六時五五分(東)カレントトビ

河 高八時四五分 (大) 民族単曲=桃河 高八時四五分 (大) 民族単曲=桃河 谷瀬葵所より中端=ながれ 大平 本原夫作制内田元作画 年前 帯大 繁天 間 唱 楠木 繁天 高唱 が ままます は しょうしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ

■ 成散至威 (二) 石黒 観道 ・ 何七時一分 (京) 例の修兵 観経 ・ (十九) 丸山層太郎 - ・ 丸山層太郎 - ・ 大 (十九) カ山層太郎 - ・ カ山層太郎 - ・ 大 (十九) カー ・ 大 (十九

同九時五分 (大)

外

廾六日き、物

信ら、身配が一つ出来なかつた。かれはしないかと云ふ不安に任え が、岩しや、後姿で、それと前付 てゐるのが、庶一の心頼みだつた 犬の知らない地味なコートを寄

演譯

半時七後

實施に就い

衛生課長 西

龜

結核豫防デ

ひ特別低版に態度既に避多の別四 だ剤と本病度防脈散の見るべきも選択してその健康を浸し生命を帰く……然る に質酔に於てはべ

・頻響を分たす給く國氏の間に

結核の病液が影の肌

長ほしつとあるかを終するに徐り

あるのであります

事を意応しつゝあるの褒例は合人 のがないばかりでなく特に近時の

著しき。能質的規模なる都市の

廿五日番組

のであります、即ち内地に於ける

雄比等は一面に於ては體育の低下

を楽し他節においては病態思播の

教育の普及其の他、生活様式の複 交通機構の観迷、産業の別門、

延の因を増加せしむる機があるの 機関を繋からしめ場に絵々本情数

るの話だ急務なるを派覧する大第

曲組謠民

47

一放 月曜日 送

の六) 佐竹 順重 (一) 同六時二〇分 (東) 英語諸座 (二) 同六時(東) ラデオ醛操 同九時一五分・氣象通報・料理献||同九時一〇分・氣象通報(後山)||同九時(東)紫庭メモ 同七時一分(東)朝の修盗 第十山巌須走森林中より中継年前五時四〇分(前)小島の朝 石果 觀泊 数は前四上萬人、一ヶ年の死亡者 内地の割合を以てすれば現在思書 の程度はおだ充分明かではよい 加与之等の大半が批響の中壁たる 数は四年人に上る見込であります 當り思言歌は百歌十萬人の多きに に於ける本摘受延

ありますから先頃設立されました 其の質別をおさむることは筆態で 商と密炎の職 駅ある事項は一般 批館の自 難とに 頼るに 非されば

> 唱 唱

夫吉 ・ はっている。 はっているい。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっているい。 はっている。 はって 捌く意味に上二 き草に腰で、わが熱そめし君なら 霊能さへ、ひとりは堪へぬ夕ぐれ 君を思へばうら悲し、姿の風さへ の、草の移り香母にだ泌む 我を思へぼうら悲し、野ゆき足ゆ

野

麥

のかあのやうに

では敵に四二金と してもこれ以外に けさよ、跳さしぐみかへり來ぬ 君を思へばうら悲し、春をむなし に、なまじ茶館の花明り

とり、見返る野路のはる

に、後安がはや見えれ

「もしぐれきの、濡れてとよきした」そへて、夢にかも君に送らむ

六七八 步



となつてゐるので、この角は本版をと、と金を攻めに用ひた一手に懸い運びがない、如何にしても無田君の五五角は歩切れの賢め 金 易二郎

い、にも物はらず長い小泉君の七三馬は他

目標となる恨れがあるよく見へても七六級の娘き が上で課

角は打つてみると「なあンだい」と云つてゐる、爆田大段の五五

紀を置いて贈えて来る佛法信、若 優を購へす筧の水音、違く谷に街 夜に亘つて放送された解法僧の鬼 する動行の鐘、昨年六月七、八雨

夏の水音・遠く台に音(桃法僧製蔵に一大髪彫を示視した鱧えて来る桃法僧・若(ら分乗上に洒裾な戴服の花が贈り贈えて来る桃法僧・若(ら分乗上に洒裾な戴服の花が贈り 借しが、一部實験者の云上が如く 『このはつく』か、既は地元民の 果・・・・して製版上の『解法 このことあつてか 戦の花が歌り

分五時九夜 佛法僧鳴聲實况 三河原來寺山山腹より中繼 名古屋から

り 取で構成を能らさず、炭々たる劉 が対は似党と観賞とに値するため けてある田である 党が近の三本杉のあたり、乾は要 四月下切より鳴き初め、目下駆帥 四月下切より鳴き初め、目下駆帥 のチャンスを更~・ 直修用版を全 電波にのせ、世の科学者に再般的 ら時報に至る約二十五分間づくを 山地駅谷方面にて盛んに鳴きつい 時に當りCKで再び特別マイク 問ひかける事になった ンスの中に、 夜は午後九時五分か

に店品粧化物間小局薬・店賃百 直は第の頃品がすまめてし意服 骨送いを下文性御へ赴不配左接 すまし登り差得でにちも方営



申御入封枚三手切錢二 **致附送御瓶用試第次込** (入記名間新乞)すまし

ては違防デー實施の趣声に質問せ 實現を促進し速かに本信厚防護蔵 を期せんとする次第であります 解と正しき認識を促し以て施設の を喚起し本層像防に對する深き理 を行ひ、一般世人の本病像附忠想 松騈龍其他の参加援助により明二 防盟語が中心となり音官公響、 大日より向ふ三日間を結核像防 - とし全郎一湾に康訪司際運動 何辛 影響におかれまし 學 顔が鳴る鳴る月夜の斤に、いとし そよ風、石はそよ風そよと來た 君はモよ風君はモよ風モよと來いよ、けふは告げよう、このおもひ 継しはこの胸に、逸ひに行かうよ こよび告げたよこのおもひ、君は 紅りガこの胸に、送うて泣いたよ 籍が得る場る夕べの形に、點くよ し態しはこの胸に、逢ひにゆから 節が鳴る人へ夜明けの丘に、 あすは明れようこのおもひ、 二、岩はそよ風 程はそ上類そととくる 割は 波の百里もしぶるに濡れて・逢ひ

み至の間さけぶぞ知る 戀はきゝとりね、大空の下君とる 言はわど様は語らひぬ、きかわど 花霞微、られしきかなや春を得て 三、明る古時 沈默の学をけるぞ知る さすいひや他國の秋や、あはれけ 南をさして、 に行からよあの思へ、彼り島さい 七、落葉

かれもしたではないに、肺れする かれもしたではないに、触れする。は君を隠すや、この箋のれもしたではないに、触れする。は君を隠すや、この箋 H さすらひやわが近く秋や、あはむ なぜにはやも高さめ行くや、 い路第ちりゆく、海難ちりゆく なぜにはやらなせにはやも

思ひ期れて峠を行けば、いつの日一天の神でゆるゆふべよ、いっかっ にやら逢へるやら、遠く驚てて海

山はしぐれる壁は暴る。つらい肺 久方の天にありても、かくぼかり山はしぐれる壁は暴る。つらい肺 久方の天にありても、かくぼかり わかれし人を歌かへば、今階の月つ歳ごろも、こほろぎの泣く音を ぎて、わが脳はやもしぐるる 現にはぬぐりあへねば、狭霧のた を担は渡るや、秋風にす」きる

> 花井蘭子さんの り白粉をこれまでい

なぜにはやも、なぜにはや

來る最高級の なり化粧が出する程美しい 粉の13の分普通の固煉白 來る最高級 を使けず然も 絶對に白粉下 り白粉

想することも多いと思ひます や、世界のレヴューの役割ミスス てつれない西の風、おまへ住む晶 期はほのほの海から明けて、明け そ夜な夜なを、独住む方にたちな 題になげくとや、泣きそ、な立る たお話もいたします ドラ・メンカン等から直接に開い 室の上の話等更に ダンスでのイザ 流過家の生ひ立ちから出世迄の話 ローランサンを主とし、シュザン 私は世界一流の女美術家マリー 期の方よ、後びに行きたや顔処た 秋の思ひは深さぞや わしも底空おまへも他回、一つお も思えるともに認路で泣きくれる 有名な洋震家を出民はフランスに長くおられ うさへ、短きゆえにひとしほに ンドサト、ダンカンローランサン、ミスタ 狭路にわれはならましを 海は呼ぶ 藤田 嗣治 通ふおもひは樹路

五月二十五日、二 点域樹 別間

Man

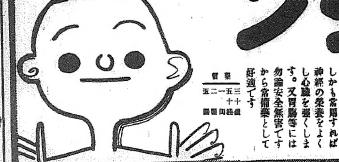
元 寶 亞 新 曾 5 合 巫 太 至 阿 霍

日品屋

頭がいたむので

スグにノーシンを 忌れたやうに治つ てしまいました! 一分 二分 五分… みました………

越



用を併せ持つてる関いた點は唯だ頭優れた點は唯だ頭をなって、頭腦の疲労をく、頭腦の疲労を

る事です